

薬剤耐性（AMR）アクションプランの進捗

国立国際医療研究センター病院

AMR臨床リファレンスセンター

大曲 貴夫



国立国際医療研究センター AMR臨床リファレンスセンター

AMR Clinical Reference Center (AMRCRC)



薬剤耐性 (AMR) 対策を推進するため、AMRアクションプラン (国際的に脅威となる感染症対策閣僚会議) に基づく業務を行う



<臨床疫学事業>

AMRアクションプランに基づく臨床疫学に係る業務を行う (サーベイランス、地域連携支援、耐性菌アウトブレイク対策の実施を支援)

医療関連感染症・感染症診療・
感染対策指標サーベイランス

薬剤耐性菌・主要検出菌
サーベイランス

抗菌薬使用量・抗菌薬適正使用推進
サーベイランス

情報の集約

地域連携支援の実施

国や地域のベンチマークデータの作成、
AMR対策の向上

<AMR対策情報・教育支援事業>

薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランに基づく情報・教育に係る業務を行う (研修企画・運営、コンソーシアム事務局、薬剤耐性情報サービス)

国民・医療者

薬剤耐性情報サービス

- ・ 薬剤耐性に関する相談窓口
- ・ E-learning開発・公表
- ・ 教育資材の開発等
- ・ ウェブサイトの運用
- ・ アウトブレイク時の相談支援

教材を提供

研修企画・運営

- ・ 入門的な研修会 (自治体担当者・社会福祉関係)
- ・ 教育研修 (地域の医療従事者)
- ・ 実地疫学研修

情報提供

人材を登録

コンソーシアム事務局

- ・ コンソーシアム開催
- ・ マニュアル・ガイドライン案作成
- ・ 特定層 (患児・小児・施設入所者など) への啓発素材の作成
- ・ 人材登録の体制構築・運営
- ・ 市民モニター側からの意見聴取

定例化推進

内容を評価

感染症教育

コンソーシアム

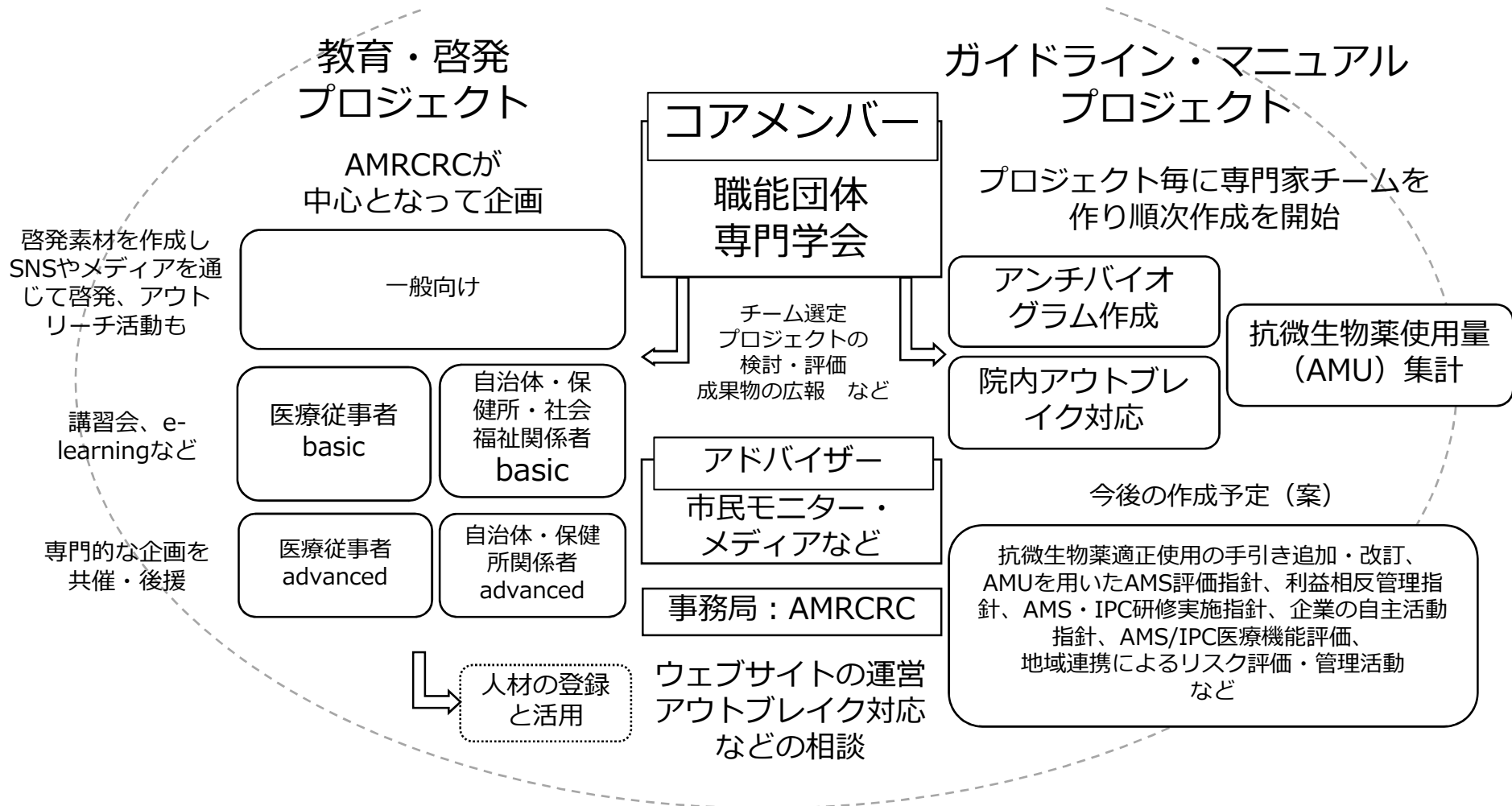
- ・ マニュアル等の評価
- ・ 研修普及啓発実地の評価

事務作業を指示



国立国際医療センター AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援部門

感染症教育コンソーシアム



啓発用ウェブサイトの公開（9月15日）



<http://amr.ncgm.go.jp/>

SNSを用いた啓発活動

Facebook



一般向け @NCGMAMR



医療従事者向け @AMRCRCJAPAN

Twitter



一般・医療従事者向け
@AMRCRC_JAPAN

啓発資材の作成

インフォグラフィック

ポスター・リーフレット

今から出来る6つの薬剤耐性予防



1. 抗菌薬は医師の処方箋が必要です

2. 抗菌薬は医師の指示通り飲みます

3. 抗菌薬をとっておいてあとで飲まない

4. 抗菌薬をあげない、もらわない

5. わからないことは医師や薬剤師に聞こう

6. 感染症を予防しよう

「かしこく治して、明日につなぐ」
～抗菌薬を上手に使ってAMR対策～

AMR
Clinical Reference Center
厚生労働省薬研事業

人・抗生物質 新時代
抗生物質 抗菌薬
抗生物質・抗菌薬が効かなくなる未来に立ち向かえ!

AMR対策

いきまあーす!

みんなにも
できることがあるんだ

あなたにできること

- 感染を防ぐために、日頃から手洗い・咳エチケットをする
- 医療機関などで、
 - 症状を医師に詳しく伝える
 - 分からないことは医師や薬剤師に聞く
 - 量と期間を守って最後まで抗生物質・抗菌薬を服用する

かしく治して、明日につなぐ
～抗菌薬を上手に使ってAMR対策～



詳しくはこちら

厚生労働省 AMR
Clinical Reference Center

※AMRとは、病原体が変化して抗生物質・抗菌薬が効かなくなることで

非売品

医療従事者向け教育啓発活動

- AMR対策臨床セミナー
(医療従事者対象、全国7ヶ所)
- AMR対策歯科臨床セミナー (日本歯科医師会共催)
- AMR対策公衆衛生セミナー

- 薬剤耐性 (AMR) 川柳公募
- メディアセミナー (11月8日)
- 各地の取り組みをウェブサイトで紹介
- 啓発イベント



厚生労働省委託事業
AMR臨床リファレンスセンター主催

AMR対策臨床セミナー

日程	2017/10/28 (土) 14:00 (開場 13:30)
会場	フクラシア東京ステーション 会議室H 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル5F

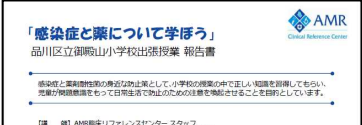
- AMRの現状 14:00~15:00
大曲 美夫 (国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター)
- 抗生薬の適正使用 15:00~16:00
宮入 烈 (国立成育医療研究センター 感染症科)
- 感染対策 16:00~17:00
眞 秀明 (国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター)

参加費: 無料 定員: 200名
申込み: 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター
右のQRコード、またはURL: <https://goo.gl/EWwmkEC>
アクセスし登録をお願いします。
Fax (03-6228-0420)での受付も可能です(氏名、所属、連絡先を明記)。

日本薬学会生涯教育制度のカリキュラムコード32単位が取得できます。
ICD国際会議会の推薦するその他の講習会、教育企画として2点を取得できます。

アウトリーチ活動

品川区立御殿山小学校での出張授業 「感染症と薬について学ぼう」 (9月14日)



感染症と薬剤耐性の普及啓発活動の一環として、小学校の授業の中で正しい知識を習得して正しい薬の服用意識をもって日常生活でのための注意を喚起させることを目的としています。



AMR臨床リファレンスセンタースタッフによる出張授業の様子。児童たちは「感染症と薬について学ぼう」というテーマで、薬の正しい使い方や、抗生薬の適正使用について学びました。

● 感染症
● 薬の正しい使い方
● 抗生薬の適正使用

● 感染症と薬について学ぼう
● 薬の正しい使い方
● 抗生薬の適正使用

● 感染症と薬について学ぼう
● 薬の正しい使い方
● 抗生薬の適正使用

知ろう小児医療守ろう子ども達の手 「小児医療基礎講座」での講義 (9月23日)



AMR臨床リファレンスセンターの啓発活動の一環として、「第1回 小児医療基礎講座」の中で、子どもの感染症・薬剤耐性対策における正しい知識と理解・啓発活動のためのセミナーを開催しました。

【講演概要】 一般社団法人 知ろう小児医療守ろう子ども達の会 主催 (司会: 阿真京子氏)
【第1回 小児医療基礎講座】

【講 師】 AMR臨床リファレンスセンター スタッフ
情報・教育支援部長 眞 秀明 (感染症専門医)
主任研究員 松永 麻子 (感染症専門医)
主任研究員 松永 麻明 (小児科専門医)

【対 象】 保健師・看護師・保育士、子育て支援者など親子に関わる方を対象

【開催日時】 2017年9月23日(土) 第1回小児医療基礎講座 第1日目 午後5時~7時
15:00~17:00 (受付: 14:45~ / 会場入室は15:00)

【開催会場】 富士通本社事務局内 セミナー会場
(東京都港区海岸1-16-1 ニューピア付サウスタワー 11階)

【内 容】 1. 子どもの薬の基礎知識
2. 子どもの多い感染症とは
3. 子どもに関わる薬剤耐性対策

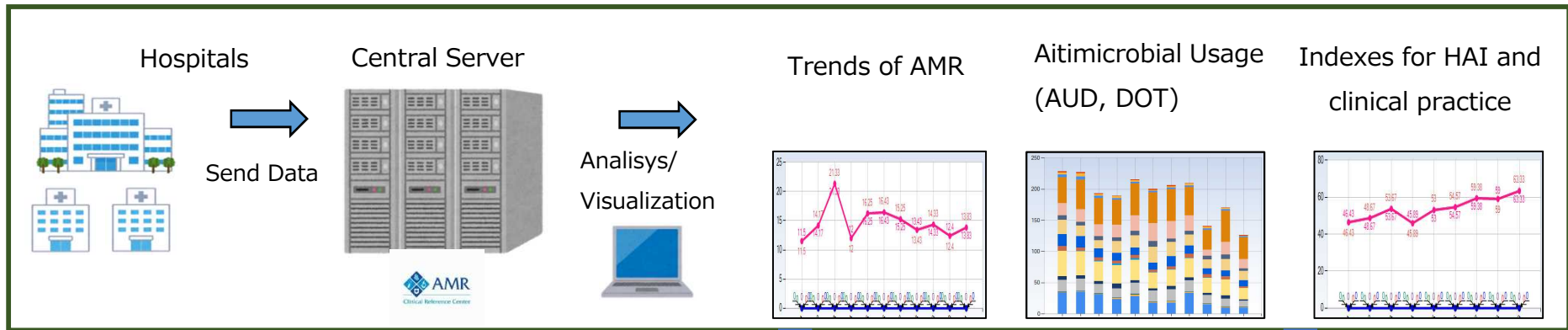
一般社団法人 知ろう小児医療守ろう子ども達の会
事務局所在地: 東京都港区海岸1-16-1-507
設立年月日: 2007年4月23日
法人設立日: 2012年7月
代表者: 阿真京子
役員: 代表理事(名、理事)1名、理事(担当)5名
ポリシー: 「チームではなく、連携。」
「知ろう小児医療守ろう子ども達の手」
相手の立場や考え方を尊重しながら
私たちが協力して、世界に誇れる文化
を伝えていきます。

☆メディア取材 (業界紙 1社)
☆ナースプラス

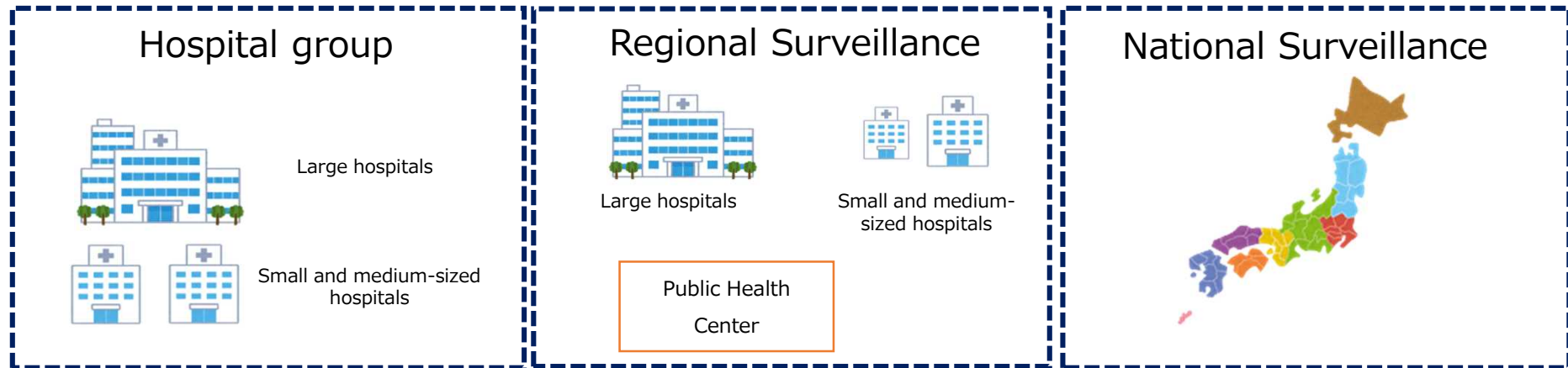
J-SIPHE : Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology



Clinical Epidemiology Unit,
AMR Clinical Reference Center, NCGM



Data collection and feedback



「薬剤耐性ワンヘルス動向調査」Webサイト概要

- ▼開設日：2018年4月3日（火）
- ▼名称：薬剤耐性ワンヘルス動向調査
- ▼URL：<https://amr-onehealth.ncgm.go.jp>



【サイトの概要と目的】

ワンヘルスの視点から、ヒト、動物、農業、食品及び環境の各分野の薬剤耐性菌の状況並びにヒト及び動物の抗菌薬の使用量(または販売量)に関する日本を代表する情報を一つに集約して掲載した初のサイトです。日本における関係各分野の状況をひとつのサイトにまとめあげたことは、薬剤耐性(AMR)対策の大きな一歩です。これらは、世界に発信できる数々の動向調査が日本に存在していることを示しています。

本サイトを踏まえて、多分野間の連携・協力が進み、AMR対策の更なる前進が期待されるとともに、今後も先進的な調査への取組を続けることが、世界のAMR対策をリードする上でも重要と考えられます。

The screenshot shows the homepage of the AMR One Health website. The header features the 'One Health' logo and navigation links for 'Home', 'Site Purpose', 'Statistical Data', 'Surveillance Activities', and 'Notice'. The main content area has a blue background with the text: 'Antibiotics, antimicrobials will become ineffective in the future, so we must act now.', 'Antimicrobial Resistance', 'AMR One Health Trend Survey', and '2017 Annual Report'. A white box contains a definition of AMR: 'AMR (Antimicrobial Resistance) is when the pathogen changes and antimicrobials become ineffective. Also, with the use of antimicrobials, AMR (Antimicrobial Resistance) can occur. This site summarizes the current status of antimicrobial resistance and antimicrobial use in various fields in Japan, and survey results, and we are pleased to provide information to you.' The footer includes a small icon and the text 'Antimicrobial Resistance One Health Website Opening Notice'.

「都道府県別抗菌薬使用量 (販売量) 集計データ」

- ▼展開日：2018年4月3日 (火)
- ▼名称：AMR臨床リファレンスセンター公式サイト
- ▼URL：<http://amrcrc.ncgm.go.jp/index.html>

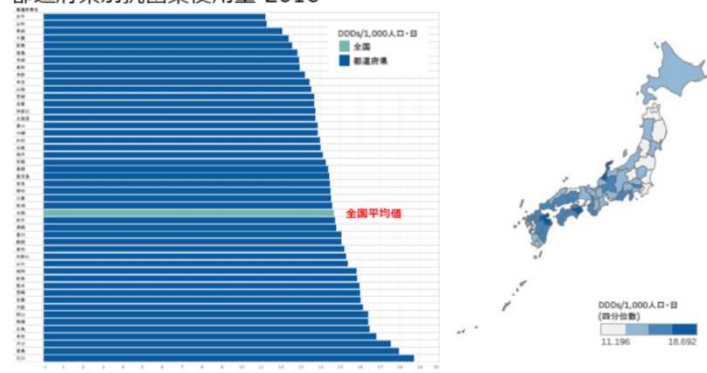


都道府県別抗菌薬使用量2013年～2016年の4年間のデータ (抗菌薬種類別/投与経路別) など国内初発表

AMR臨床リファレンスセンターでは、薬剤耐性(AMR)アクションプランを実行すべく、都道府県別抗菌薬使用量や使用増減率を発表することにより、医療従事者をはじめ行政団体への抗菌薬処方量の意識改革につながる情報を発信を行います。サーベイランス事業を通じて更なる情報の収集・分析・発信を積極的に行い、薬剤耐性(AMR)の認知、啓発を行ってまいります。

「国内都道府県別抗菌薬使用量 (販売量) 集計データ」

都道府県別抗菌薬使用量 2016



都道府県別抗菌薬使用増減率 2013～2016

